

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 4 月 13 日 (2006.4.13)

【公開番号】特開 2001-252409 (P2001-252409A)
 【公開日】平成 13 年 9 月 18 日 (2001.9.18)
 【出願番号】特願 2000-64400 (P2000-64400)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 6 A

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 20 日 (2006.2.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤上に球を打ち出す遊技で、打球が落下途中で遊技盤上にある各種役物に入賞すると、遊技者に賞球を払い出す遊技機において、

球の入賞が困難ないし容易な状態に変化する可変入賞装置と、予め定められた表示遊技を表示する可変表示装置と、遊技制御装置とを有して成り、

前記可変入賞装置は、球の入賞が困難な閉状態と球の入賞が容易な開状態とに開閉可能に上下別々に設けられた条件変更手段と、上側の条件変更手段により内部に導かれた球が入賞し得る上部特定入賞口と、下側の条件変更手段により内部に導かれた球が入賞し得る下部特定入賞口とを有し、

前記遊技制御装置は、所定の遊技条件の成立に基づき、前記可変入賞装置の先ず上側の条件変更手段を通常の開状態から閉状態に一時的に変位させ、続いて下側の条件変更手段を通常の開状態から閉状態に一時的に変位させ、かつ前記上部特定入賞口に球が入賞することを条件に、前記上下の条件変更手段の連動した開閉動作を繰り返し実行し、かつ前記下部特定入賞口に球が入賞することを条件に、前記可変表示装置で表示遊技を実行し、該表示遊技の結果が特定の大当たり態様に確定した場合に、遊技者に有利な特賞を付与することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記条件変更手段は、左右に離隔して軸支され、それぞれ同期して開閉可能な一对の可動片から成ることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

前記遊技盤上に始動入賞口を設け、該始動入賞口に球が入賞することを、前記上下の条件変更手段の開閉動作が最初に実行されるための前記所定の遊技条件と設定したことを特徴とする請求項 1 または 2 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0015
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0016
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0024
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0025
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0026
【補正方法】削除
【補正の内容】